

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年9月15日
【四半期会計期間】	第147期第3四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）
【会社名】	横河電機株式会社
【英訳名】	Yokogawa Electric Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奈良 寿
【本店の所在の場所】	東京都武蔵野市中町二丁目9番32号
【電話番号】	(0422)52-6845
【事務連絡者氏名】	IR部長 中谷 博彦
【最寄りの連絡場所】	東京都武蔵野市中町二丁目9番32号
【電話番号】	(0422)52-6845
【事務連絡者氏名】	IR部長 中谷 博彦
【縦覧に供する場所】	横河電機株式会社中部支店 （愛知県名古屋市熱田区一番三丁目5番19号） 横河電機株式会社関西支社 （大阪府大阪市北区梅田二丁目4番9号 プリーゼタワー内） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年2月8日に提出いたしました第147期第3四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものです。

2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第4 経理の状況
- 1 四半期連結財務諸表
- 注記事項
- (重要な後発事象)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しています。

第一部【企業情報】

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(重要な後発事象)

(訂正前)

(株式取得による会社等の買収)

(省略)

2. 取得原価の算定等に関する事項

(1) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当事者間の守秘義務により非開示とさせていただきます。

(省略)

(訂正後)

(株式取得による会社等の買収)

(省略)

2. 取得原価の算定等に関する事項

(1) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に所有していた持分の企業結合日における時価 9百万米ドル(1,325百万円)

追加取得の対価 現金 40百万米ドル(5,395百万円)

取得原価 50百万米ドル(6,720百万円)

(注) 取得の対価には、条件付取得対価(公正価値)を含めています。

(省略)

4. 企業結合契約に規定される条件付取得対価の内容及び当連結会計年度以降の会計処理方針

(1) 条件付取得対価の内容

企業結合後の特定のマイルストーン達成に応じて、条件付取得対価を追加で支払うこととなっています。

(2) 当連結会計年度以降の会計処理方針

上記条件付取得対価の変動部分につきましては、米国会計基準に基づき認識しています。